



# 万燈通信

平成30年9月14日発行

## 第1回 学校評価へのご協力たいへんありがとうございました。

学校運営の改善に役立てたいと思います。今回は概要の説明です。

### 1 評価の高かった項目（「良くできている」「だいたいできている」の合計）

順	質問の概要	割合
1	お子さんは交通ルールを守り、気をつけて登下校している	95.9%
2	お子さんは健康診断の結果から再受診をするなど健康に気をつけている	93.6%
3	お子さんは毎朝朝食をとって学校に行く	92.9%
4	校内事故の防ぎ方や災害時の対応の仕方について理解している	92.5%
5	お子さんは思いやりの気持ちをもって友だちと接している	92.1%

**<改善に向けた考察>** 1は命に関わる大切な項目であり、教職員も最も力を入れている指導事項の1つです。現在、部活終了後は一斉に職員が下校指導したり、賀茂神社の丁字路まで毎週交代で行き、交通指導を行ったりしています。また、月曜日の朝は職員が交代で、青パトによる巡回を行っています。命の大切さを今後も折に触れて指導するとともに、脇道から車が出てくるかも知れないという想像力を高め、自分の身は自分で守ろうとする態度を高めていきたいと思えます。また、ヘルメットの着用や左側1列走行など繰り返し学校では指導します。登下校時のヘルメット着用は徹底されていますが、帰宅後出かける際に「ノーヘル」の生徒がいると連絡を受けることが時々あります。ご家庭でもお子さんが出かけるときには、「気をつけて」と「ヘルメットをかぶって」の声かけをお願いします。

2、3は健康面や基本的な生活習慣に関わる質問で、交通安全と共に重要な質問で、日々の教育活動の中でも声かけやお願いをしているものです。特に、今年の夏休みは猛暑の日が続きましたが、部活動で調子が悪くなってしまう生徒の傾向は、前日の夜何らかの理由で「睡眠不足」、朝寝坊をしたりして朝食を摂る時間がなかったなどの理由による「朝食抜き」、もともと「体調不良」などです。朝食は、身体や脳を目覚めさせ、学習や運動に対する意欲を高めます。2学期も引き続き、朝食をしっかりと食べ、排便を済ませてから登校するようにご協力をお願いします。

4は、最近各地で起きている学校事故や自然災害に対する対応の仕方を生徒が理解しているということです。これも命に関わります。本校では、計画的に避難訓練を行ったり、自然災害時の下校方法を家庭訪問や教育相談時に確認し、万が一の時の対応を作成しています。自然災害が増加している昨今、緊急時どこに避難するか、ご家庭でもルールを決めておくと緊急時に慌てずに行動ができると思えます。

5は、友だちとのトラブルを防ぎ、人間関係を良好にするために大切な項目です。昨年に引き続き、本校では本年度も校内研修で道徳を取り上げ、豊かな心の育成に努めています。2学期も様々な授業や行事を通して、体験に根ざした心の教育に取り組んでいきます。

その他、「学校から各種たよりや家庭訪問等で学校の生徒の活動の様子が分かる」「家庭でもエコ活動、リサイクル活動に積極的取り組んでいる」「お子さんは適度な睡眠時間をとり、学校に遅刻しないように送り出している」なども90%を超える好評価をいただきました。これらについて、今後も学校の情報をお知らせしたり、健康面について助言したりしながら、健康で、安全な学校づくりに尽力します。

### 2 評価の低かった項目（「良くできている」「だいたいできている」の合計）

順	質問の概要	割合

1	お子さんは家庭学習を1日平均1時間以上している	44.2%
2	お子さんは学習内容について質問したり発表したりしてノート等にまとめている	46.7%
3	お子さんは家庭学習の仕方を理解している	47.6%
4	お子さんは基本的に学習内容を理解している	59.5%
5	お子さんの将来の夢や希望について話し合っている	76.1%

＜改善に向けた考察＞ 特に評価が低かった項目は、いずれも学習や将来に関連するもので、保護者の意識の高さが伺えます。また、アンケートの時期が、部活動の盛んな7月であったため、家庭学習時間が少なかったのは仕方ありませんが、受験のある中学生として、かなり深刻な状況です。家庭学習が1時間以上と回答した割合は、1年生は、28.1%、2年生は、52.8%、3年生は、51.9%となっており、特に1年生の学習時間の少なさが目立ちます。学習内容を定着させ、学力向上を図るためには、「授業理解」と「家庭学習」が重要な要素です。昨年も掲載しましたが、本校職員の＜家庭学習の工夫（H30バージョン）＞を以下に掲載しますのでお子さんの参考にしてほしいと思います。

#### ＜家庭学習の仕方（H30バージョン）＞

##### ○勉強の仕方について（各教科毎には、担当の先生に相談すると詳しく教えてください。）

- ① 授業ノートをもう一度、教科書を見ながら家庭学習用のノートに書き写す。
- ② 授業のワークを家庭学習用ノートにやり、提出時にもう一度（繰り返し）やって提出する。
- ③ 市販の厚くない問題集を購入し、授業のペースに合わせて進め、分からない時には先生に聞く。
- ④ 単語、漢字、計算練習、英語や国語の音読等、各教科の基礎的・基本的知識や技能は、毎日時間や練習する数を決め、繰り返し行う。
- ⑤ 単語帳や年号帳等をつくり、隙間の時間（空いた時間）に取り組む。または、繰り返し自己テストすることで記憶を定着させる。
- ⑥ どうしても憶えたいことは、机や壁等に貼っておき常に目に触れるようにする。

##### ○時間の使い方について（ここが重要です！）

- ① 漢字や計算、ワークなどは一度やった後、間違えた問題のみチェックして再度解く。
- ② 15分、30分などタイマーをかけて、各教科の学習を順に行う。時間が来たら、予定通り行かなくても次に進む。だらだらやるより、効率的にできる。
- ③ 授業中できなかった問題に付箋を貼っておき、帰宅するまでに先生や友だちに聞いて解決する。
- ④ 勉強時間を〇時～〇時と決め、短い休憩時間（5～10分）を挟んで集中力を保つ。

##### ○その他（後で役立ちます！）

- ① 漢字検定や英語検定の問題集を購入し、勉強して積極的に受験する。
- ② 目で見るだけでなく、手や耳などを使ったり、声に出したりして学習する方が頭に入る。
- ③ 文を読むこと、書くことが苦手な人は、新聞のコラム欄（天声人語など）を読む、書き写す。

いずれの例も、大切なのは「繰り返しすること」であり、そのためには時間が必要になると言うことです。また、「自分に合ったやり方を身につける」ことが、学習の意欲付けにもつながります。ある人に良くても、他の人には合わないこともあるというように、人によってじっくりくる学習方法は異なるものです。よく「やり方が分からないから勉強やらない」という人がいますが、どのやり方でも良いからやってみることが全ての始まりです。学習時間は、習い事や塾で学習している人もいて、一概には言えませんが、「学年+1時間」をひとつの目安に頑張してほしいと思います。

また、5の卒業後の「進路」について、明確な目標が定まれば一層「学習意欲」も高まることが期待できます。自分は「将来〇〇になりたい、そのために、どうしても〇〇高校に行きたい」となるために、日頃からご家族で将来の夢や希望について話し合っていたきたいと思います。

学校では、学年毎に家庭学習の仕方の工夫を行っています。中学では、家庭学習はたいへん大切です。上の例を参考に、ご家庭でも家庭学習について、話し合っていたきたいと思います。